

園より（1月） おゆうぎ会に向けて

おゆうぎ会が近づいていますね。市民会館の大きなホールの舞台に立って堂々と踊ったり劇を演じる子どもたちは、毎年のことながら毎回感動を与えてくれます。思わず涙がこぼれるくらいの勢いある素晴らしい演技、頑張りに子どもの力というのは大人が思っている以上にものすごいパワーを秘めているのではないのでしょうか。

さて今年も園児たちは2月のおゆうぎ会本番に向けて一生懸命練習している最中です。自分で踊りをきっちり踊れるようになってきたら、今度は回りの人と合っているかを意識してタイミングを合わせることを覚え、更に完成度を増すために回る方向や腕の伸ばしどころなどをかっこよく踊るためには、かわいくおどるためにはどうすればいいかそれぞれ考えているようです。これが年長クラスなら年長クラスのレベルで、年少クラスなら年少クラスなりですが楽しみながらもけっこう真剣に考えていて、大げさかもしれませんが更なるたかみを目指して一生懸命取り組んでいるようです。

そのおかげでしょうか最初は、曲がかかると見様見真似で曲に振り回されながら曲についていくのが精いっぱいでしたが、本番が近づくにつれ少しずつ自信をつけて『踊りを覚えた』を超越して、堂々と『曲に乗っている！』ような姿です。



ところで保育園として、おゆうぎ会の目標は一言でいうと「役になりきって演じる」ことです。おゆうぎ会を日頃のごっこ遊びの延長として役になりきる楽しさを学び、役割を分担してみんなで作り上げることが目標で、自分の役になりきって演じ切る。



劇あそびなどは言ってみれば一つの社会です。
配役は子どもたちで決めました。重なった役
もありましたがそんなときは、それぞれ話し
合って譲歩したり、じゃんけんしたり、くじを
作ったりして決めていました。一人ではでき

ないことをよくわかっているし、一人がやらないと台無しになってしまうこともよ
くわかっていて、それぞれの役に自信を持って思い切って演じています。

ただ、当日は大きな舞台なばかりか大勢の人の前で演技しますので子どもたちは緊
張のあまりびっくりして、立ち尽くすばかり、泣いてしまった…などなど練習通り
にいかないことも多々あると思いますが、子どもたちはママ、パパ、おばあちゃん、
おじいちゃんたちに観てもらおうと一生懸命練習してきていますのでどうぞ温かく
見守ってあげてください。

では本番をお楽しみに！